



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.4



平成23年10月

医療救護チーム活動終了



【活動終了式で挨拶をする県災害医療コーディネーター 石井医師】

震災以降、県内外から多数の医療救護班が被災地に入り、地域住民の診療等を行ってきましたが、9月末でその活動を終わりました。10月5日、県内最後の活動拠点となった石巻市雄勝地区で『石巻圏合同救護チーム活動終了式』が行われ、県災害医療コーディネーターである石巻赤十字病院の石井医師から石巻市雄勝診療所長の小倉医師へ救護カルテの引き渡しが執り行われました。小倉医師から「カルテは薄いが大変想いが詰まっている。感謝の気持ちはこれから地域のために頑張っていきたい」と挨拶がありました。

震災以降、県内外から多数の医療救護班が被災地に入り、地域住民の診療等を行ってきましたが、

9月末でその活動を

石巻市雄勝診療所開設



10月5日、石巻市雄勝診療所の開所式が行われました。診療所長の小倉医師は県の「みやぎドクターキューピット事業」により赴任。診療科目は内科、外科、整形外科の3科で診療所は診察室の他、待合室、薬局などを備え、同日診療開始となりました。石巻市内では寄磯地区でも診療所(内科、神経内科、循環器内科)の再開に向けた準備をしています。

小倉健一郎医師プロフィール

神戸市出身。佐賀医科大学卒業後、整形外科から内科まで幅広い診療に関わる。イラン・スリランカ・インドネシア・四川での災害救護や発展途上国での医療支援、離島での医療経験も多い。東日本大震災発生直後から2度宮城県に入り、各地避難所で診察にあたった。



【雄勝診療所長 小倉医師】

牡蠣のシーズン到来



県では、かき剥きを開始するにあたって、毎年、生食用かきを養殖する海域の海水検査を実施していますが、今年も10月3日に海水検査がスタート。震災の影響により今年は採水地点数が大幅に減少し、鳴瀬東部海域4カ所、宮戸西部海域1カ所、万石浦海域7カ所、長浜沖海域5カ所の合計17カ所となりました。管内のすべての地点で、かきの養殖海域の海水基準(食品衛生法に基づく生食用かきの加工基準:大腸菌群最確数70以下/100ml)を満たし、かき処理場の検査が終了・許可され次第、かき剥きが始まり、11月より市場に出荷される見込みです。



【長浜沖(石巻湾)の海水検査の様子】

仮設住宅訪問支援員、活動開始



9月30日から石巻市内で仮設住宅入居者の見廻り活動が始まりました。この支援事業は、石巻市社会福祉協議会が石巻市より業務委託を受け、高齢者などの孤独死防止などを目的として定期的に仮設住宅を巡回します。仮設住宅訪問支援員(見廻り隊)は臨時職員として雇用されたスタッフや各エリアのコーディネーターなどを合わせ、約160名体制で活動をスタート。2~3人/班で仮設住宅を巡回・訪問、アンケート調査を実施しつつ、入居者の安否確認や今後の巡回・訪問の必要性、要望などを確認します。訪問調査の結果、緊急性の高い課題や要望の多い事項などについては、石巻市や地域包括支援センター、保健師などに連絡し、仮設住宅の入居者をサポートしていきます。

災害廃棄物二次処理業務の概要



石巻地域(石巻市、東松島市、女川町)の災害廃棄物の発生量は約850万トン、津波堆積物の発生量は約380万m³。県ではこれらのうち各市町で処理できない廃棄物について中間処分、最終処分に関する委託を受け、鹿島など9社からなる共同企業体と業務契約を締結しました。処理計画では石巻市雲雀野町ヤードに粗選別、各災害廃棄物の破碎選別処理、津波堆積物処理施設を配置、潮見町(南浜)ヤードに焼却ヤードを配置します。第一段階2012年3月頃までに、既に石巻市が搬入済みの災害廃棄物を処理、第二段階2012年2月からは、一次仮置き場や解体現場から搬入される廃棄物や津波堆積物を処理し、2014年3月までに終わる計画です。この業務では地元からの雇用促進(目標1,250人/日)、資機材の調達その他、発電機へのバイオディーゼル燃料利用や太陽光発電、バイオマス発電なども計画されており、地元の地域振興と地球環境の保全にも取り組んでいきます。

【宮城県全体の災害廃棄物等の発生量】

項目	県全体	石巻地域				県全体に対する比率
		石巻市	東松島市	女川町	発生量合計	
災害廃棄物	18,194	6,383	1,568	512	8,463	47%
津波堆積物	11,600	2,000	1,800	0	3,800	33%

単位：災害廃棄物千t、津波堆積物千m³

【業務の実施工程(予定)】

	2011年			2012年				2013年				2014年				
	10	11	12	1	2	3	4	...	7	8	9	10	11	12	1	2
既存廃棄物撤去・処分	雲雀野			南浜												
運搬	廃棄物	[Bar chart showing transport from Oct 2011 to Dec 2013]														
	津波堆積物	[Bar chart showing transport from Oct 2011 to Dec 2013]														
粗選別	[Bar chart showing sorting from Oct 2011 to Dec 2013]															
中処理	土質改善	[Bar chart showing soil improvement from Oct 2011 to Dec 2013]														
	破碎	[Bar chart showing crushing from Oct 2011 to Dec 2013]														
焼却処理	混合物	[Bar chart showing incineration of mixed waste from Oct 2011 to Dec 2013]														
	コンガラ ※注	[Bar chart showing incineration of slag from Oct 2011 to Dec 2013]														
搬出・処分	[Bar chart showing removal and disposal from Oct 2011 to Dec 2013]															
解体・復旧	[Bar chart showing demolition and reconstruction from Oct 2011 to Dec 2013]															

※注 コンガラ:コンクリート等廃棄物



震災廃棄物石巻事務所開設

県では、震災により生じた石巻地域(石巻市、東松島市、女川町)の災害廃棄物処理業務の運営管理や地元との調整を円滑に進めるため、10月3日から現地管理事務所を県石巻合同庁舎内に新たに設置しました。当面の期間、3名の職員体制で対応していきます。10月23日には二次処理施設建設工事の安全祈願祭が執り行われるなど、震災廃棄物の二次処理業務がよいよスタートします。

心のサポート拠点『からころステーション』開所



10月19日、震災により心のケアを必要とする方々のサポートを行う拠点として、『からころステーション』がJR石巻駅前に開所しました。

この事業は石巻市が「心のサポート拠点事業」の一環として、一般社団法人「震災こころのケア・ネットワークみやぎ」(代表:仙台市 原クリニック 原敬造院長)に運営を委託したものです。同日開所式が行われ、原代表は「医療、精神保健、福祉の面からも協力しあって、被災者の心のケアについて考え、被災者の孤立や不安などの問題が深刻化しないように予防活動や講演会を行っていききたい」と挨拶。今後、石巻市と連携して個別訪問を行い、悩み事の相談にのったり、症状に応じて医療機関を紹介するなど活動を行っていきます。【開所式で挨拶する 原代表】



問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
企画総務班企画調整グループ
〒986-0812
石巻市東中里1-4-32
TEL:0225-95-1416(代)
Fax:0225-94-8982
<http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>

編集後記

秋晴れの日が続き、気持ちいいですね。もとの職場に戻り、ようやく落ち着いたところ…事務所ハードディスクが壊れ気味という不思議な現象!?も見られますが、これからも頑張っていきます(^^) /